

◇千代田連絡会・松島和幸さん（日本テレビOB）

トヨタに全面解決の決断を求め西神田公園からトヨタ東京本社へのデモ（2007年3・16あおぞら行動）が一番印象に残っていた。「あれから10年」の感慨をもった。自民党国会議員のあいさつ、西村先生の話しを聞いて、あの解決を勝ちとった力をあらためて感じた。

◇葛飾青空の会・吉野五郎さん（葛飾医療生協）

各方面からの多数の参加で「さすが10周年のつどい」と感じた。来賓あいさつを聞きながら、こういう支援の力もあったのかを知った。あの席で・・・と思いながら聞いたが西村先生の話しはとてもよかった。苦労して勝ちとった到達点、これをふまえ「これからどうするか」という運動の方向を確認できた。

◇足立連絡会・宮下武美（足立区労連事務局長）

あれだけの諸団体が参加、運動の広がり・強さをあらためて感じた。足立の地域では一緒に運動し支え合っている。地域の労働組合も諸々の事情があるがもう少し力を発揮する必要がある。目標実現するまでこれからも活動を続けたいと思っている。

◇板橋連絡会・船木義弘さん（板橋区労連事務局長）

あの和解に関わってきた大勢の方が参加。和解の成果を重く受け止め、今後とも新しい救済制度実現にむけた「決起の場」になったと思う。終盤のトヨタ攻め（ディーラー要請）を患者会と一緒にやったことが印象に残っている。これまで以上に一緒にやっていきたい。

◇江戸川連絡会・入谷昭宏さん（東京連絡会～勝利実行委員会～あおぞら連絡会専従事務局として

約15年裏方の役割を担う。）

懐かしいメンバーと会い、相変わらず頑張っていることを確かめる場になった。勝利和解の新しいパターンをつくった東京大気裁判の果たした役割は大きい、なおかつ勝ったあと10年間、さらなる飛躍をめざして活動を継続させてきた。今後も組織の存続・活動の維持に協力していきたい。

◇江東・墨田連絡会・内田敬三さん（江東区職労）

東京大気支援の話になるとトヨタ東京本社前の座込行動が出て「あんどきは・・・」と盛り上がる。それが「10周年のつどい」につながり、亡くなった方もいるが多くの仲間と再会できた。これからも連絡会の活動を持続していきたい。数日後、大越さんを招き自転車問題の勉強会。8月にも予定している。

◇世田谷青空の会・亀岡良夫さん（世田谷健康友の会）

和解調印の時に見せた「あの微笑」が忘れられない。いつも先頭に立っている患者さんの姿が私を動かした。「五年見直し」は考えてもおらず、いつまでも続くと思いついていた。まだ運動を続けるのは酷だ、難しいという気持ちを内心に抱えながらもやらなければ成果は生まれない、地域の力を出してと言いつつ聞かせている。

◇大田連絡会・加藤郁子さん（元平和島競艇労組～神奈川年金者組合で活動）

まず会場に着いた瞬間、患者さんの顔を見て「よかった！」と嬉しくなった。

こういう機会がないと懐かしい人にも会えない。とてもいい機会になった。

政治がどんどん悪くなり、たたかわないと自分たちを守れない時代。80歳を超えたが一緒に頑張りたい。年金裁判も自分の生き甲斐にするつもりだ。

◇品川連絡会・金田江美子さん（元品川労協事務局）

「きれいな空気を取り戻したい」の一念で活動してきた小林静江さんが一年ほど前に脳溢血で倒れた。「みんなに会いたい」と黒磯からご主人が介添役になって参加。リハビリ中で言語障害が残っているが、懐かしい人と抱き合い、涙を流しながら以心伝心の交流となった。一判決当日のメーカー7社と徹夜に近い交渉をおこなうなど加害責任を徹底的に攻め、和解を実現した。財源不足を理由にした患者切捨ては許されない。一人残らず最後まで救済すべきであり、加害企業と政治の責任をはたせ！と求めている。



全労連（布施）川崎公害根絶市民連絡会（有坂）東京土建豊島支部（相良）文京連絡会らの「感想コメント」は次号で紹介します。